



**松高だより**  
松高since1919～創立100年のブランド力～

千葉県立松戸高等学校

令和2年3月19日 R1 NO. 11・12

発行 校長 小野 静枝

## 東京造形大学との連携協定を締結

2月26日（水）東京造形大学で教育交流に関する協定の調印式を行いました。昨年度から協定を結んでいる女子美術大学と同様に、高校では出来ないことを大学で実習したり、大学の先生から教えていただくことで、芸術科の教育内容の更なる充実を図ります。東京造形大では高校との連携事業はこれまで多数あったものの、連携協定は初めてということで、大きな期待を寄せていただきました。



## 冬季インターンシップ

2月6日（木）松戸県税事務所で生徒10名がインターンシップを実施しました。県庁の業務や税についての講義の後、自動車の差押研修、座談会、表彰式準備等の業務体験と充実した内容で、近くにある松戸税務署の見学や署長からの講話も受け、生徒は行政職についての理解を深めるとともに、税を通して社会への関心を高めることができました。また、今年も近隣小学校4校で10名の生徒がインターンシップを行いました。夏季に続いて色々な業種で、多数の事業所に生徒を受け入れていただきました。生徒はこの体験を通して、進路実現に向けて意識が大きく向上しました。



タイヤを固定して差押え



## 大銀杏4本を伐採

2月21日（金）正門脇の大きく伸びた銀杏の木を4本伐採しました。昨年秋の台風や暴風雨により、上部の枝が折れ、今後もバス停側の歩道に枝が落ちることが懸念されたためです。毎年の見事な黄葉は秋の風物詩でした。また、以前から近隣住民の皆様にご迷惑をお掛けしていた校庭の木の落葉ですが、校庭南側の落葉樹を3月末までにほぼ全て剪定・伐採することになりました。今年度は16本の木が倒れました。矢切から移転して55年、校庭の景色も時代とともに変わります。



# 新型コロナウイルス感染拡大防止のため 3月4日(水)から臨時休校

## 卒業式は卒業生と教職員のみ参加

3月7日(土)の卒業式は来賓、保護者、在校生の参加を取りやめ、卒業生と教職員のみで行いました。生徒の安全を最優先した結果とはいえ、松高を巣立つ卒業生を例年のように皆でお祝いできず、本当に残念でした。創立100周年の年の最高学年として自覚を持ち、下級生の模範となる立派な生徒たちでした。進路実現に向けてもよく



努力し、東京芸術大学(芸術科)、県立医療大学、多摩美術大学(芸術科)、武蔵野美術大学(芸術科)、関西大学、同志社大学、獨協大学、日本大学(芸術学部)などの難関大学にも合格しました。卒業生の今後の活躍に期待しています。

## 中止となった行事数多

3月は1年間の集大成として学習だけでなく、部活動においても大切な時期です。新学期をいつものように無事に迎えることができるよう、感染拡大防止に努め、終息することを心から祈ります。

以下は、中止となった行事等です。

3月17日(火)～22日(日)芸術科作品展(県立美術館)、3月17日(火)合唱部スプリングコンサート(本校)、3月19日(木)入学許可候補者説明会(本校)、3月21日(土)吹奏楽部第7回卒業コンサート(松戸市民会館)、3月24日(火)終業式、3月26日(木)～28日(土)芸術科1年生の古美術研修旅行(京都)等。



配付する予定  
だった  
ポスター→  
と  
←案内葉書



3年間『松高だより』をお読みいただき  
ありがとうございました。松高がこれから  
も皆様に愛され、地域の誇りとなるよう、  
変わらぬ御支援を宜しく願ひ申し上げます。